

説明書

1. 製品情報

品番	J210
品名	MAM-Biotin イヌエンジュレクチン-ビオチン標識
製品形状	凍結乾燥粉末（塩フリー）
保存	Store at 2-8°C

2. 規格

凝集活性	< 100 μ g protein/mL (ウサギ赤血球(2%v/v))
ビオチニル化量	> 2.0 mol/mol Lectin

3. 使用上の注意

レクチンに緩衝液を加え、濃度 1 - 2 mg/mL に調整します。
強く攪拌すると沈殿が生じますので自然溶解させます。
使用直前に緩衝液で適当な濃度に希釈してご使用ください。
溶解後は小分けして -20°C で凍結保存してください。
凍結融解を繰り返さないでください。

注意

- ラベル表示の記載事項を必ずご確認ください。
- 転倒・落下防止策をとったうえで管理して下さい。
- 開封の際は、怪我などにご注意下さい。
- ご使用の際は、試薬に触れることのないようにし、眼鏡・手袋・マスク等を着用下さい。なお、試薬が目や口に入ったり皮膚に付着した場合は、直ちに大量の水で洗い流し、必要があれば医師の診断等を受診して下さい。
- ご使用後の廃棄物に関しては、関連法規等を遵守し、適切に処理して下さい。
- 当社より提供する試薬は研究用ですので、医薬品としてのご使用等その他の目的でのご使用は行わないで下さい。

データシート

MAM イヌエンジュレクチン	
MAM-Biotin	品番：J210 包装：1mg ・ 製品形状 凍結乾燥品（塩フリー） ・ 保存 4°Cで1年間安定 ・ 用途 糖タンパク質糖鎖の染色、検出

- 起源 イヌエンジュ (*Maackia amurensis*)
- 糖特異性 Sia α 2-3Gal
- マイトージェン活性 あり
- 血液型特異性 非特異
- 構造 アミノ酸配列から分子量約 31,000¹⁾。サブユニット間の結合はジスルフィド (S-S) 結合。最近では MAM の一価単量体が調製され、フローサイトメトリーなどへの応用が報告されている²⁾。
- 特徴 イヌエンジュ種子から精製した白血球凝集能の高いレクチン MAM (または MAL I) の結合には Sia α 2-3Gal β 1-4GlcNAc の糖配列が必要で、また N-アセチラクトサミンの繰り返し構造は、結合を増強させると報告している³⁾。よって α 2-3 結合シアル酸を持つ 3 本鎖、4 本鎖のアスパラギン型複合型糖鎖に強く結合する。Sia α 2-3Gal β 1-3GalNAc (ムチン型糖鎖) には結合しない。また α 2-6 結合シアル酸にも結合しない⁴⁾。
イヌエンジュ種子の赤血球凝集素は MAH (または MAL II) と呼ばれ、このレクチンは MAM とは対照的にムチン型糖鎖に強く結合する⁵⁾。

文献

- 1) Yamamoto, K., Konami, Y., et al., 糖質シンポジウム講演要旨集, 16, 124 (1994)
- 2) Shibuya, N., Kaku, H., 糖鎖の構造・機能解析のための共通基盤技術の開発に関する研究 (第 1 期) 成果報告書 平成 3-5 年度, 252 (1995)
- 3) Knibbs, R. N., Goldstein, I. J. et al., *J. Biol. Chem.*, **266**, 83 (1991)
- 4) Wang, W., Cummings, R. D., *J. Biol. Chem.*, **263**, 4576 (1988)
- 5) Konami, Y., Yamamoto, K., et al., 糖質シンポジウム講演要旨集, 15, 109 (1993)